

私の果たすべき使命!



同じ危機は、二度と同じようには起きない。しかし、形を変えて、危機は必ずまたやってくる。学ぶことを学ぶ責任が、私たちにはある!

●今、「答えの無い問い」に直面し、誰もが困惑し、不安の中にいます。毎年、日本のどこかが自然災害の猛威に脅かされ、そして新型コロナウイルスという新興感染症との戦いも長期戦に及んでいます。一人ひとりが安心を感じられる暮らしと、それが叶うまちのあり方を真剣に考えていかなければならない局面を迎えています。

一年後の社会状況が、どうなっているのかを的確に予想することは困難で、何が正解なのかわからない時代だからこそ、『未来の不確実性』を意識して、これに正面から向き合い・立ち向かう姿勢が、今、求められていると考えます。

●私は、自分が住むまちに対する市民としての誇り、新たなあり方としての郷土愛「CIVIC PRIDE」(シビックプライド)によるまちづくりを掲げました。

“自らが関わり、まちをより良くしていこうとする市民意識の醸成”を応援し、その精神が近い将来、八代市の人柄・土地柄の代名詞になっていくことを願っています。

●コロナの禍中、そして被災から復旧復興の途にある八代市。ひたむきに生きる市民の生活を守り、明日という希望の日を子どもたちに紡いでいくために、市民の「切実な声」、「声なき声」に「一隅を照らし」、議会に届けしっかり議論します。

●変化が激しくこれまでの経験則だけでは、押し量れない不透明な状況ではありますが、すべての市民がささやかでも、ごく普通の生活を安心して送り、未来に対して夢を抱けるよう私はどのような難題にも真っ直ぐに向き合い挑み続けます!

八代市坂本町復興計画策定委員会 (くらし・コミュニティ専門部会)



西濱

委員として、住宅・生活再建築など11の施策を提案

主な役職等

- | | |
|-----------------------|---------|
| ●八代市議会文教福祉委員会 | 委員 長 |
| ●八代市議会防衛議員連盟 | 会 長 |
| ●八代市議会い業振興議員連盟 | 事務局 長 |
| ●太田郷校区体育協会 | 顧 問 |
| ●八代市陸上競技協会 | 副 会 長 |
| ●八代市男女共同参画社会づくりネットワーク | 副 会 長 |
| ●国立熊本高専同窓会 熊本県支部 | 副 支 部 長 |
| ●国立熊本高専八代陸上競技部OB会 | 会 長 |
| ●日本おもてなし推進協議会 | 専務理事 |
| ●同 上 熊本地区 | 副 会 長 |
| ●(財)日本自治創造学会 | 会 員 |

私も応援しています!

“自分のことだけを考えるのではなく、人を思いやり、生きていくこと”を体現している「にしはま和博」氏は、とにかく誠実であたたかく、おもてなしの心溢れるお人柄です。



困っている人の声にきちんと耳を傾けて寄り添い、議員として真実一路に生きる姿は、これまでも、これからも、八代市にとって“かけがえのない人財”であると確信し、強く応援させていただきます!



一般社団法人日本おもてなし推進協議会 理事長 古川 智子

・日本おもてなし推進活動の先駆者であり第一人者
・全国47都道府県で2500回を超す講演セミナーを開催

私は知っています。「にしはま和博」氏が、“八代市民のために自分のできることは、何か?”と日々、自問自答していることを。

彼は、心より純粋に八代を愛しています。おごることのない誠実で正直な人柄と、そして、何より人一倍正義感の強い持ち主ですから、必ずや市民の皆様にも幸せを感じていただけるよう、ひたむきに努力を続けていくと信じています。私は、これまでも、今も、そしてこれからも、真っ直ぐな目で歩み続ける彼を心より推薦し、応援いたします!



トタン屋根のケーキ屋 ア・ラモート 新本 高志



・平成5年 熊本市坪井に店を開店。
・各地に出かけ、自転車でパウンドケーキを販売する一方、八代市をはじめ各地の小中高校からの講演依頼は今も絶えない。

西濱が執筆依頼、インタビューを受けた書籍など

<p>全国の地方議員10名に選抜</p> <p>地方から考える 社会保障</p>	<p>地域医療構想について</p> <p>社会保険旬報 12.1</p>	<p>プロが教える社会保障</p> <p>サンデー毎日</p>
--	--------------------------------------	---------------------------------

事務所 〒866-0824 八代市上日置町4791-1
アレンタワー新八代103号 TEL050-1568-6841 討議資料



新・5つの政策目標

詳しくは、中をご覧ください。



一隅を照らす

詳しい情報は「チラシ」から



経歴

生年月日 昭和39年9月27日生
現住所 八代市横手町
S46年:八千把小学校入学
◎5年生:八代市柔道大会で準優勝
S52年:第四中学校入学
S55年:国立八代高専入学
◎4年生:学生会役員(総務)
◎3~5年生:陸上競技部主将
◎5年生:全国高専大会 800M / 第5位
S60年 八代市役所入庁
◎新幹線整備事業、港湾整備事業、都市計画事業等に携わる(一級土木施工管理技士)
◎都市対抗熊日駅伝出場
◎コーチとして全国高専陸上競技大会総合優勝
H7年度:熊本県都市計画課勤務
H20年度:八代市役所退職
H21年9月~:八代市議会議員(現職)
H27年4月~:自治体法政執務講座受講生
R2年3月:社会塾 宮崎こばやし熱中小学校卒業

にしはま 西濱 かずひろ 和博

こんな活動をしてきました!

政府へ各種の要望活動



総務省へ要望書を提出

九州管内初! 山崎直子氏の講演会を実現



元宇宙飛行士が本市の子どもたちへ夢を届ける!

熊本地震発災直後、西濱を通じて愛知県の新城市から物資の支援!

西濱が「若者政策」を通じて先進市である新城市とかねて独自の交流を持っていた縁から、間仕切り用段ボール1500枚を届けていただき、各避難所へ搬入した。
【支援事例】⇒ そもそも土足用フロアとなっていた当時の「やつしろハーモニーホール」では、この段ボールを一面に敷き詰めることによりノロウイルス対策と認められ、閉鎖を免れた。



新城市の職員さんへ御礼を述べる西濱



避難所「やつしろハーモニーホール」

令和2年7月豪雨 コロナ禍の被災地に、いち早く「ハイテク機器」が届く!

長期化が見込まれる避難生活では、新型コロナウイルスなどの感染症の予防も含めた衛生環境面の支援が急務。西濱の全国ネットワークが機能し、本市の坂本町にAI(人工知能)搭載のリサイクルシャワーが4基届けられた。

断水した福祉避難所(坂本の里一灯苑)横の市有地に設置



GOOD DESIGN AWARD 2020 グッドデザイン大賞



西濱です(7月13日:設置完了)

※人工知能(AI)が自動で繰り返しろし、排水の98%が再利用可能。「ガイアの夜明け」等でも報道。

※西濱のこれらの取組は、全国誌「社会保険旬報/R3年6月発行」でも紹介。

にしはま和博の提案・取り組みにより実現した主なもの!

災害時対策

災害時の給水活動に『民間支援のタンクローリー車』を導入!

★1回に、12,000リットルの給水が可能になる。



防災対策

熊本地震の教訓をもとに、①『生涯学習としての防災教育』及び②『防災教育キャンプ』の取り組みを提言!

★市教育委員会の回答
①全市一体となって進めていくべきと認識。
②地域防災力の向上に有効であると認識。
→「二見自然の森」など、社会教育施設の活用が可能に!



教育改革

九州管内で初めてとなる『教育長への手紙』制度を創設!

★いじめ等に起因する重大な事案を未然に防止するセーフティネットの一つとして、また、幅広い声を的確に把握し、教育の充実につなげていく。



安全対策・感染症対策

子どもを事故から守れ!市が『キッズゾーン設定』を表明!

★幼い子どもの痛ましい事故が発生しないよう、保育所等の周辺エリアをスクールゾーンに準ずる『キッズゾーン』を設定。最大限の未然防止対策に務める。



教育振興基本計画』及び『特別支援教育推進計画』を策定!

『教育振興基本計画』
→八代市の実情に即した教育の総合的な振興が可能に。
『特別支援教育推進計画』
→幼児期から卒業後までの切れ目ない特別支援教育の指針。



八代支援学校の『スクールバスを2台増便』(コロナウイルス感染症対策)

★基礎疾患のある子ども、身体的弱者である子ども等への感染症対策が急務。
→バスの増便により、平均乗車率がこれまでの9割から5割へと密の状態が改善!



行政改革

『政策・組織マネジメント機能』によるガバナンス強化が必要!

★各部に『政策機能』を新たに設ける。
→企画政策課、市民活動政策課、人権政策課、健康福祉政策課、農林水産政策課、建設政策課、教育政策課等が設置される。



施設の愛称としての命名権『ネーミングライツ制度』を創設!

★行政財産への命名権を付与することにより、市の自主財源確保に貢献。
【実施例】八代市総合体育館 やつしろハーモニーホール



福祉・健康の増進

八代市に国直轄の『地域若者サポートステーション』を誘致!

★若者の自立を支援する新たな社会システム
→長期に職業に就けずに悩んでいる若者を対象に、関係機関と連携して職業的自立など個々に応じた支援。



放課後デイサービス等の『支給日の決定基準』を改善し、利用日数が拡大!

★放課後デイサービスとは?
→障がい児通所支援事業として、支援が必要な障がい児に対し自立を促進するため、放課後や夏休み等において、生活能力向上の訓練などを提供。



困窮者自立支援事業『実施率100%』は全国で熊本県だけ!

★法令を読み解き、子どもへの学習支援や一時生活支援等4つの任意事業は、県が実施主体になれることを確認。
→県内の自治体間で行政サービスに格差が生じないように、熊本県に要請し、県下不公平なく100%の実施が実現!



『骨髄等移植ドナー』に対する本市独自の助成事業を創設!

★骨髄移植を希望する患者のうち、骨髄移植にいたる割合は6割にとどまっておらず、ドナーとなる人の協力が不可欠。
→ドナーの負担軽減と移植の推進を図るため、ドナーに助成を行う市独自の制度を創設。



産 業文化の振興

本市の水産振興を図るための総合的施策『水産振興ビジョン』を策定!

★また、知的財産活用戦略として特許庁への『地域団体商標登録』に対する財政支援についても制度化を実現!



歴史的価値を有する写真の『デジタルアーカイブ化』を構築!

★博物館未来の森ミュージアムにおいて、歴史資料の価値を有する写真をデジタル化し、次世代への確実な継承を行う。



八代市 にしはま和博が掲げる主な政策目標

1 シビック・プライドによるまちづくり
自らが関わり、都市をより良くしようとする意識の醸成

◆オール八代による坂本町の創造的復興の積極的推進

(1)人口の急減に対処する『特定地域づくり事業協同組合制度』を活用し、地域づくり人材の確保、地域社会の維持及び経済の活性化を図る。
(2)世代をつなぐ助け合い制度『プラチナネットワーク事業』を市域あげて取り組み、支援の輪を広げる。



2 不確実性を伴う危機に『備え』・『戦う』政策

◆自然災害の猛威に備え、産学官連携型の最先端予測技術等を導入。

(1)『東京大先端科学技術研究センター』等と連携し、避難情報の早期発信・確実な情報伝達等の技術を構築。
(2)災害などの有事に即応できる『災害ケースマネジメント』の実施体制を平時から構築する。
◆未知の健康リスクと戦う新たなヘルスシステムの構築。
(1)県が策定する地域医療計画に『新興感染症等の感染拡大時における医療』を明確に位置付ける。



3 “切実な声”・“声なき声”に寄り添う政策
八代地域特有の福祉・医療・教育の充実

◆弱い立場の方達(高齢者、障がい者、障がい児、生活困窮者、疾病者等)の実情・真意を汲み取る政策

(1)足立区に学び、健康で長生きするための健康寿命の延伸対策『スマートライフプロジェクト』を実践。
(2)『学校バリアフリー化整備計画』を策定・実践し、障がい児等の就学先の選択肢を拡大。
(3)様々な悩みを抱える子ども(困窮する子ども)への『無償学習支援塾』(県事業)を全ての校区に設置。
(4)新法に基づく『休眠預金等の活用』により、子どもの貧困対策などを支援する民間公益活動を進展。
(5)一次医療圏である八代市における特有の医療課題に対処する行政組織『地域医療政策課』を新設。
(6)八代圏域に、口腔の健康と全身の連携拠点となる『病院歯科』を設置。



4 “子どもたちの未来は、八代の未来そのもの”政策
子育て環境・発達段階教育の充実

◆妊産期・乳幼児期、小中高校期における保護者への子育て支援

(1)『家庭総合支援拠点』を設置し、『子育て世代包括支援センター』との連携による包括的支援を構築。
◆次代を担う子どもたちに対する未来への投資
(1)八代市民あげての共通目標、3歳からの全ての未就学児を対象とした『幼児教育ビジョン』を策定。
(2)高校までの発達段階に応じた『ライフデザイン教育及びキャリア教育』を推進。




5 “若い世代が活躍できるまち八代”の確立
若者の社会形成・社会参加を支援する政策

◆若者や子育て世代が学校や職場に限らず、あらゆる場面で一層能力を発揮し活躍できる環境を整える。
～行政に若い世代の声が届いているのか?～
行政は若い世代の声を拾えているのか?～

(1)若い世代が市政にかかわる機会(思いや意見を伝える機会)を確保するため『若者条例』を制定。
(2)市長の諮問に応じ若者総合政策を策定する『通年若者議会』の設置と『若者提案に予算枠』を確保。




【悩みを抱える「子ども・若者」の育成支援】

◆困難に陥っても、セーフネットが張られていることを実感できるまち八代

(1)子ども・若者育成支援法の大綱に基づく『八代市子ども・若者計画』を策定し、公的責任で支援。
(2)市の組織に『重層的支援体制』を整備し、ヤングケアラーなど困難を抱える子どもたちを救済。